

日中経済交流研究会 6月 例会

モバイル決済システム、中国の現状と 今後、日本での普及はいかに？

今回は、中国においてここ数年で劇的な普及を見せ、アクティブユーザーが9億人を超えるといわれている携帯電話などによる**モバイル型決済システム**と**電子マネー決済**について取り上げます。現在中国の都市部では、実に90%を超える割合の人々が日々携帯電話を使ったモバイル決済を利用するようになってきました。「Alipay(支付宝)」や「WeChat Pay(微信支付)」といったサービスが急速に発達し、露店の屋台でも現金が使えず観光客が困ってしまうという事態にもなっているとか。

日中経済交流研究会では、ここ数年訪中団で訪れるたびに変化している中国における消費者行動にも注目し、モバイル決済システム導入のメリット、デメリット、さらには今後の日本企業にとっての可能性を研究するため、例会でこのテーマに取り組むことにしました。

報告者①

大竹口 隆 氏



株式会社ネットスターズ 執行役員
フィンテック事業部マーケティング部長
日本全国において、中国テンセント社のWeChatを利用したモバイル決済サービスの提案と導入に長年従事。WeChatを活用した中国向け販路開拓について具体的な活用事例などを全国で紹介している。
今回はWeChatを使ったマーケティング手法などについても語っていただきます。

報告者②

松下 靖 氏



ソフトキャンディ 代表
日中経済交流研究会会員
ソフト開発において30年のキャリアを持ち、近年は日本・中国に関連する企業の電子決済におけるソフトやシステムのサポートを行っている。
今回は、WeChat以外の電子決済やIT技術を活用した中国・日本の事例などを紹介していただきます。

無料

例会概要の ご案内

日時 2018年6月8日(金) 18:30より(受付開始 18:00)

場所 大阪産業創造館 5階

大阪府大阪市中央区本町1丁目4-5 (最寄り駅
Osaka Metro「中央線」、「堺筋線」の「堺筋本町駅」から、徒歩約5分
電話: 06-6264-9800

懇親会 懇親会:参加費 研究会会員 2,000円(非会員3,000円)

希望者のみ

【2018年度 訪中団のお知らせ】

本年度の訪中団は、大連を訪問する予定です。中国のローカル企業を始め、日本と関わりのある企業、そして北朝鮮と国境を接する町丹東市にも訪れます。市内企業と開発区どちらにも訪れ、様々な角度から中国の最前線を見学します。

日程	2018年 10月 20日(土)~24日(水)
募集人数	20名(先着順) ※最少催行人数 15名
費用	会員 約15万円 非会員 約16万円
備考	7~8月頃募集開始 ※行先・費用などは変わることがあります

お申込みはe.doyu または FAXにて **FAX:06-6941-8352**

会員名

支部名

申し込み日

会社名

メールアドレス

該当する箇所に✓を入れてください。

研究会へ入会を希望 例会の参加を希望 懇親会への参加を希望 訪中団への参加を希望